NY マーケットレポート（2014 年 10 月 6 日）

NY 市場では、米国の主要な経済指標の発表がなく、取引材料に乏しい中、欧米の堅調な株価動向を背景に、序盤のドル円・クロス円はやや堅調な動きとなった。しかし、午後に入ると、堅調な動きが続いていた株価がマイナス圏まで下落する動きとなったことから、ドル円・クロス円も軟調な動きとなった。その後、先週末の米雇用統計を受けて、ドルが上昇していた反動から、利益確定の動きが優勢となり、ドルが主要通貨に対して軟調な動きとなった。また、円も軟調な動きとなり、終盤のクロス円は堅調な動きとなった。

2014/10/6（月）

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	109.44	109.86	109.34
EUR/JPY	137.19	137.43	137.04
GBP/JPY	174.73	175.39	174.58
AUD/JPY	95.52	95.52	95.03
EUR/USD	1.2538	1.2539	1.2509

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	109.52	109.25
EUR/JPY	137.39	137.18
GBP/JPY	174.96	174.73
AUD/JPY	95.56	95.36
EUR/USD	1.2568	1.2534

＊LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	15890.95	+182.30
ハンセン指数	23315.04	+250.48
上海総合	休　場	
韓国総合指数	1968.39	-7.77
豪ASX200	5292.91	-25.30
インドSENSEX指数	休　場	
シンガポールST指数	休　場	

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6563.65	+35.74
仏CAC40	4286.52	+4.78
独DAX	9209.51	+13.83
ST欧州600	336.00	+0.81
西IBEX35指数	10645.70	+78.10
伊FTSE MIB指数	20119.73	-80.89
南ア 全株指数	49166.20	+553.01

＊中国市場は国慶節、インド市場はイード・アル・アドハーのため休場
＊シンガポール市場はハリラヤハジの振り替え休日のため休場

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	108.81	109.48	108.66
EUR/JPY	137.62	137.77	137.12
GBP/JPY	174.96	175.09	174.48
AUD/JPY	95.32	95.49	95.07
NZD/JPY	85.34	85.51	84.89
EUR/USD	1.2649	1.2675	1.2542
AUD/USD	0.8761	0.8785	0.8708

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16991.91	-17.78
S&P500	1964.82	-3.08
NASDAQ	4454.80	-20.82
その他主要株	終値	前日比
トロント総合	14743.12	-46.66
ボルサ指数	44820.85	+142.71
ボベスパ指数	57115.90	+2576.35

10/7　経済指標スケジュール

11:30 【香港】9月購買部景気指数
12:30 【豪】政策金利発表
14:00 【日】8月景気先行CI指数
14:00 【日】8月景気一致CI指数
15:00 【独】8月鉱工業生産
15:00 【南ア】9月外貨準備高
15:45 【仏】8月財政収支
16:15 【スイス】8月実質小売売上高
16:15 【スイス】9月消費者物価指数
16:30 【スウェーデン】8月個人消費
17:00 【ノルウェー】8月鉱工業生産
17:30 【英】8月製造業生産高
17:30 【英】8月鉱工業生産
18:30 【南ア】9月SACCI景況感指数
21:30 【カナダ】8月住宅建設許可
23:00 【米】10月IBD/TIPP景気楽観指数
23:00 【英】9月NIESR GDP予想
23:00 【米】8月JOLT労働調査[求人件数]
04:00 【米】8月消費者信用残高

コモディティー	終値	前日比
NY GOLD	1207.30	+14.40
NY 原油	90.34	+0.60
CMEコーン	332.50	+9.25
CBOT 大豆	942.25	+30.00

米国債利回り	本　日	前　日
2年債	0.53%	0.56%
3年債	0.99%	1.03%
5年債	1.69%	1.72%
7年債	2.13%	2.15%
10年債	2.42%	2.44%
30年債	3.12%	3.13%

10/7　主要会議・講演・その他予定

・黒田日銀総裁 定例会見
・ミネアポリス連銀総裁 講演
・ニューヨーク連銀総裁 講演

（出所：SBILM）

NY 市場レポート

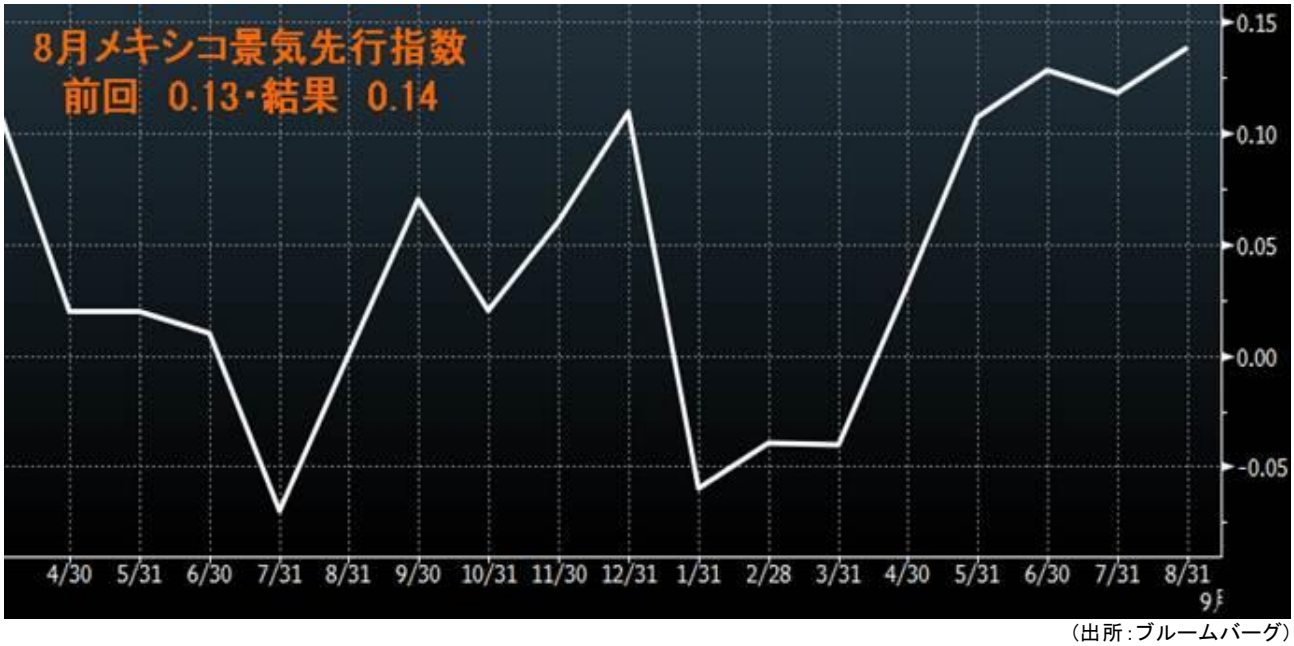
21:00
ドル/円　109.26　　ユーロ/円　137.31　　ユーロ/ドル　1.2568

21:00
欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6558.42	+30.51	ダウ INDEX FUTURE	16968	+47
仏 CAC40	4293.98	+12.24	S&P500 FUTURE	1945.80	+5.50
独 DAX	9281.30	+85.62	NASDAQ FUTURE	4026.00	+10.00

（出所：SBILM）

22：00
≪ 経済指標の結果 ≫
8 月メキシコ景気先行指数　0.14（前回　0.13）
前回発表の 0.12 から 0.13 に修正



（出所：ブルームバーグ）

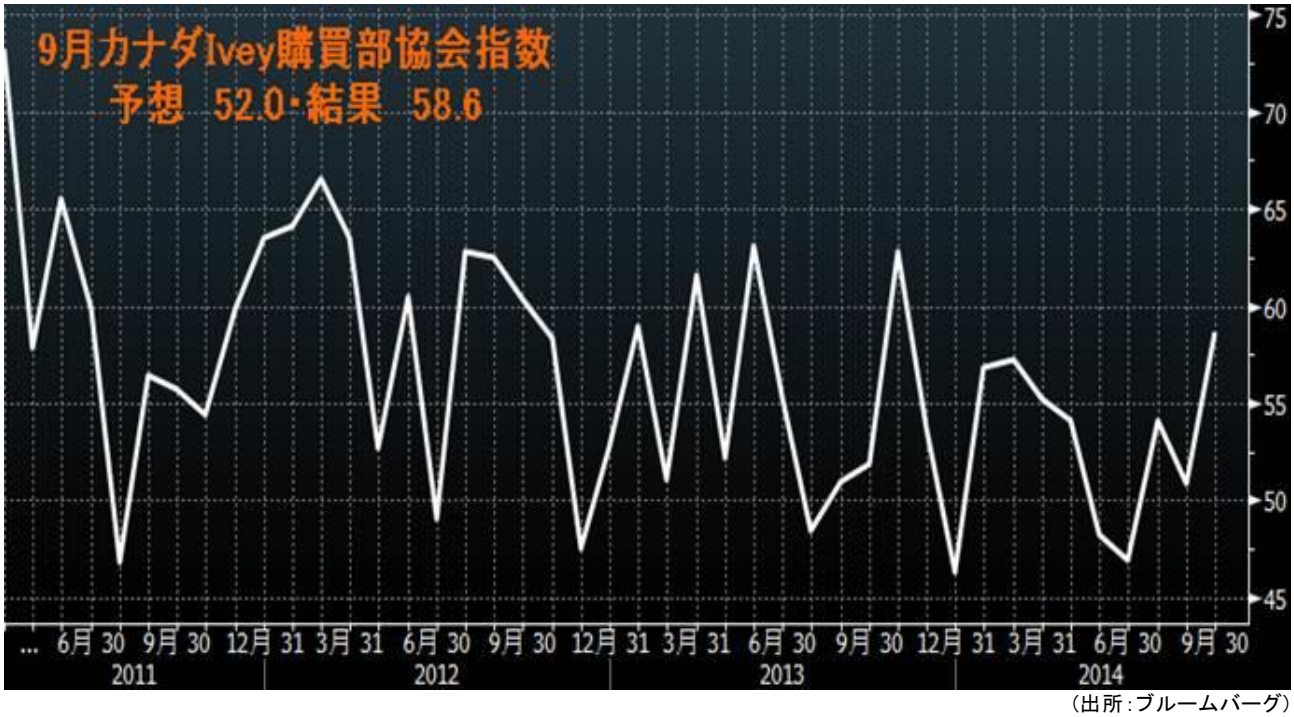
22：33
米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17076.93	+67.24
ナスダック	4492.05	+16.43

（出所：SBILM）

23：00
≪ 経済指標の結果 ≫

9月カナダ Ivey 購買部協会指数　58.6（予想　52.0・前回　50.9）



（出所：ブルームバーグ）

（出所：ネットダニアー）

23：30
≪ NY 株式市場　序盤≫
序盤の株式市場は、米経済や FRB の政策に対する楽観的な見方が強まっていることや、東京市場や欧州主要市場などの株価上昇が好感され、買いが優勢となった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前週末で 89 ドル高まで上昇する動きとなった。

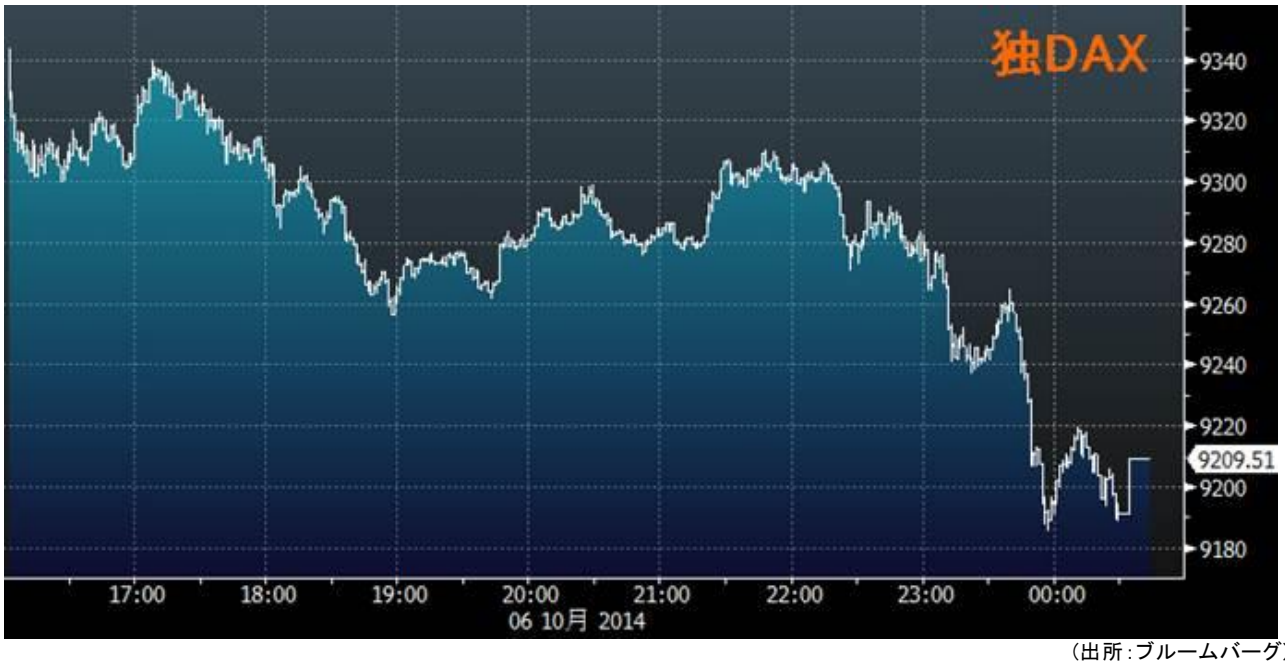
≪ 経済指標のポイント ≫
（1）コンファレンスボード（全米産業審議会）が発表した 9 月の雇用トレンド指数は、前月比+0.3%の 121.68 となり、前月比で 9 ヵ月連続の改善となった。前年同月比では+6.1%となった。8 月の指数は、当初発表の 121.29 から 121.32 に上方修正された。雇用トレンド指数は 、堅調な雇用の回復が年内いっぱい続くことを示唆しているとの指摘も出ている。雇用トレンド指数は、CB 消費者信頼感指数の就労関連指数や週間失業保険給付申請件数など、雇用に関する 8 つの指数を基に算出する。

（2）米 FRB が発表した 9 月の労働市場情勢指数（LMCI）は 2.5 に上昇。8 月は 2.0 だった。LMCI は、失業率をはじめ、労働参加率やフルタイムでの職を望みながらもパートタイムで働く労働者の人数、採用状況などの 19 の指標で構成される。労働省による毎月の雇用統計発表後の最初の営業日に発表される。この日が定期発表の初回となった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6563.65	+35.74
仏 CAC40	4286.52	+4.78
独 DAX	9209.51	+13.83
ストック欧州 600 指数	336.00	+0.81
ユーロファースト 300 指数	1350.16	+3.02
スペイン IBEX35 指数	10645.70	+78.10
イタリア FTSE MIB 指数	20119.73	-80.89
南ア アフリカ全株指数	49166.20	+553.01

（出所：SBILM）

≪欧州株式市場≫
欧州株式市場は、米景気回復への期待を背景に買いが先行した。ただ、午後にかけては欧州景気の先行き不透明感が意識され、主要株価は上げ幅を縮小したい。



（出所：ブルームバーグ）

≪海外の話題≫
ホテルチェーン運営会社の米ヒルトン・ワールドワイド・ホールディングスはニューヨーク市マンハッタンにある高級ホテル、ウォルドルフ・アストリアを中国の安邦保険集団に 19 億 5000 万ドル（約 2130 億円）で売却することで合意した。ヒルトンの発表によれば、ウォルドルフの運営は続ける。ウォルドルフは大規模な改装が行われるという。ヒルトンはウォルドルフを 1972 年に購入。同物件全体あるいは一部の売却を検討していると 2 月に明らかにしていた。

1：00
米主要株価・中盤
ダウ　16976.72（-32.97）、　S&P500　1963.10（-4.80）、　ナスダック　4452.87（-22.76）

≪ NY 債券市場　・午前≫
序盤のニューヨーク債券市場は、前週末の相場下落で値頃感が出たとして、米国債の買い戻しが先行した。また、ドイツの製造業受注が前月から大幅に落ち込んだことを受けて、ドイツ国債が買われ利回りが低下。相対的に利回りが高い米国債に資金を振り向ける動きも出た。ただ、今週の米国債入札を控えてポジション調整の売りも出やすく、値動きは限定的となった。

午前の利回りは、30 年債が 3.13%（前週末 3.12%）、10 年債が 2.43%（2.44%）、7 年債が 2.14%（2.15%）、5 年債が 1.70%（1.72%）、3 年債が 1.00%（1.03%）、2 年債が 0.54%（0.56%）。

≪欧州のポイント≫
①ドイツ経済技術省が発表した 8 月の鉱工業受注指数は、前月比-5.7%となり、世界的な金融危機の最中だった 2009 年初め以降最大の落ち込みとなった。ユーロ圏経済の低迷や、海外情勢を背景にした不透明感に圧迫された。ユーロ圏からの受注は-5.7%、国内受注は-2.0%、ユーロ圏外からの受注は-9.9%となった。ウクライナ危機だけではなく、ドイツは他のユーロ圏諸国の弱さにも影響を受けており、第 4・四半期にとって明らかに良くない兆候との指摘も出ている。資本財の受注の落ち込みが特に大きく前月から-8.5%となった。一方、消費財受注は海外からの需要を背景に+3.7%となったことが唯一の明るい材料となった。

②ユーロ圏当局者によると、欧州委員会は 10 月末に、フランスの 2015 年度予　算案を承認せず、修正案を求める見通し。欧州委は 2013 年に国家の予算案について修正を求める権限を付与されたが、実際に行使すれば初めてとなる。欧州委はまた、フランスに対する懲戒手続きを、制裁発動前の最終段階まで進める一方、EU の規則に基づく水準に財政赤字を削減するため 2 年の猶予期間を与える見通しという。

③英中銀は、英国で営業する銀行に個人向け銀行業務と投資銀行業務を分離する 案を来年 1 月 6 日までに提出することを義務付けた。英中銀の健全性監督機構の声明によると、リスクを伴う業務をリテール（小口金融）業務から切り離す規則に沿うための「主要な目標と決定時期」を、各行は計画に盛り込む必要があるとしている。

3：30
NY 金は、中心限月が前日比 14.40 ドル高の 1 オンス＝1207.30 ドルで取引を終了した。

4：10
NY 原油は、中心限月が前日比 0.60 ドル高の 1 バレル＝90.34 ドルで取引を終了した。

主要商品	終　値	前日比
NY GOLD	1207.30	+14.40
NY　原油	90.34	+0.60

（出所：SBILM）

≪ NY 金市場 ≫

ＮＹ金は、ドルが主要通貨に対して下落し、ドル建てに割安感が出たことから、買いが先行した。また、米国株の下落につれて比較的安全な資産とされる金を逃避的に買う動きも広がったことも支援材料となった。

（出所：ブルームバーグ）

≪ NY 原油市場 ≫

ＮＹ原油は、ドルがユーロや円などに対して下落したため、ドル建て原油に割安感が広がったことを受けて、買いが優勢となった。ただ、世界的な供給過剰感や需要の鈍化が引き続き圧迫要因となり、上げ幅は限定的となった。

（出所：ブルームバーグ）

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16991.91	-17.78	17099.39	16930.38
S&P500 種	1964.82	-3.08	1977.84	1958.43
ナスダック	4454.80	-20.82	4496.26	4444.10

（出所：SBILM）

≪米株式市場≫

米株式市場は、米国経済や FRB の政策に対する楽観的な見方が強まっていることや、東京市場や欧州主要市場などの株価上昇が好感され、序盤から買いが優勢となった。しかし、その後は売りが優勢となり、主要株価はマイナス圏まで下落する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前週末比で 89 ドル高まで上昇する動きとなった。しかし、その後は売りが優勢となり、マイナス圏まで下落する動きとなった。

（出所：ブルームバーグ）

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	108.81	109.48	108.66
EUR/JPY	137.62	137.77	137.12
GBP/JPY	174.96	175.09	174.48
AUD/JPY	95.32	95.49	95.07
NZD/JPY	85.34	85.51	84.89
EUR/USD	1.2649	1.2675	1.2542
AUD/USD	0.8761	0.8785	0.8708

（出所：SBILM）

≪外国為替市場≫
外国為替市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく、取引材料に乏しい中、序盤は堅調な株価動向を背景に、ドル円クロス円は堅調な動きも見られた。しかし、その後はドルと円が主要通貨に対して軟調な動きとなり、ドルは円に対しても下落した。一方、クロス円は堅調な展開が続いた。

（出所：ブルームバーグ）

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、 複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。